

商品名 ジスロマック点滴静注用500mg 医薬品基本情報

薬効	6149 その他の主としてグラム陽性菌，マイコプラズマに作用するもの	一般名	アジスロマイシン水和物注射用
英名	Zithromac	剤型	注射用
薬価	1863.00	規格	500mg 1瓶
メーカー	ファイザー	毒劇区分	

ジスロマック点滴静注用500mgの効能・効果

肺炎、骨盤内炎症性疾患

ジスロマック点滴静注用500mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 高度肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. QT延長、心疾患	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	注意
4. 類薬で過敏症の既往歴、心疾患	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ジスロマック点滴静注用500mgの副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、喘鳴、血管浮腫、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、薬剤性過敏症症候群、発疹、発熱、肝機能障害、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、ヒトヘルペスウイルス6再活性化、HHV-6再活性化、ウイルス再活性化、肝炎、黄疸、肝不全、急性腎障害、乏尿、血中クレアチニン値上昇、腎機能低下、偽膜性大腸炎、出血性大腸炎、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、血便、咳嗽、胸部X線異常、間質性肺炎、好酸球性肺炎、QT延長、心室性頻脈、Torsade de pointes、白血球減少、顆粒球減少、血小板減少、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2.	光線過敏性反応、紅斑、皮膚水疱、皮膚剥離、多形紅斑、寝汗、多汗症、皮膚乾燥、皮膚変色、脱毛、貧血、リンパ球数減少、ヘモグロビン減少、白血球数増加、潮紅、血圧低下、動悸、血圧上昇、クレアチニン増加、腎臓痛、排尿困難、尿潜血陽性、頻尿、舌変色、口のしびれ感、舌のしびれ感、おくび、胃炎、口内乾燥、唾液増加、腭炎、アフタ性口内炎、口腔内不快感、消化管障害、口唇炎、失神、痙攣、振戦、激越、嗅覚異常、無嗅覚、神経過敏、不安、錯感覚、攻撃性、真菌感染、咽頭炎、皮膚感染、肺炎、 β 溶血性レンサ球菌感染、膣炎、結膜炎、眼瞼浮腫、霧視、ぶどう膜炎、眼痛、視力障害、筋肉痛、関節痛、頸部痛、背部痛、四肢痛、関節腫脹、鼻出血、アレルギー性鼻炎、くしゃみ、ラ音、気管障害、低音性連続性ラ音、鼻部障害、鼻閉、鼻漏、羊鳴性気管支音、痰貯留、耳痛、難聴、耳鳴、聴力低下、耳障害、精巣痛、不正子宮出血、脱水、血中重炭酸塩減少、低カリウム血症、胸痛、無力症、浮腫、低体温、不整脈、咽喉頭異物感、局所腫脹、粘膜異常感覚、疼痛、疲労	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
3.	発疹、蕁麻疹、皮膚そう痒症、好酸球数増加、白血球数減少、血栓性静脈炎、ALT増加、AST増加、ALP増加、 γ -GTP増加、LDH増加、肝機能検査異常、下痢、腹痛、悪心、嘔吐、腹部不快感、腹部膨満、カンジダ症、疼痛	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
4.	アトピー性皮膚炎増悪、血小板数増加、好塩基球数増加、顆粒球数減少、プロトロンビン時間延長、血小板数減少、血中ビリルビン増加、BUN増加、尿中蛋白陽性、便秘、口内炎、消化不良、食欲不振、鼓腸放屁、口唇のあれ、黒毛舌、舌炎、舌苔、腹鳴、頭痛、めまい、灼熱感、傾眠、味覚異常、感覚鈍麻、不眠症、胃腸炎、咳嗽、呼吸困難、嗄声、卵巣囊腫、血中カリウム減少、血中カリウム増加、血管外漏出、紅斑、発熱、口渇、気分不良、倦怠感、浮遊感	記載場所	その他の副作用
		頻度	0.1%未満
5.	アナフィラキシー・ショック、副作用、QT延長、心室性頻脈、Torsade de pointes、聴力障害、注射部位疼痛、注射部位反応、心悸亢進、間質性腎炎、肝壊死、運動亢進、受胎率低下、リン脂質空胞	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

ジスロマック点滴静注用500mgの相互作用

- 薬剤名等：ベネトクラクス

発現事象	効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	ベネトクラクスの血中濃度が低下	指示	希望禁止

- 薬剤名等：ワルファリン

発現事象	国際標準化プロトロンビン比上昇	投与条件	-
理由・原因	マクロライド系薬剤はワルファリンの肝臓における主たる代謝酵素であるチトクロームP450を阻害するので、ワルファリンの作用が増強	指示	注意

- 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象	血中濃度半減期の延長、最高血中濃度の上昇	投与条件	-
理由・原因	マクロライド系薬剤はシクロスポリンの主たる代謝酵素であるチトクロームP450を阻害	指示	注意

- 薬剤名等：ネルフィナビル

発現事象	アジスロマイシン濃度・時間曲線下面積＜AUC＞及び平均最高血中濃度の上昇
理由・原因	-

投与条件	アジスロマイシン錠の1200mg投与
指示	注意

5. 薬剤名等：ジゴキシン

発現事象	中毒の発現リスク上昇
理由・原因	P-糖蛋白質を介したジゴキシンの輸送が阻害されることにより、ジゴキシンの血中濃度が上昇

投与条件	-
指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』